

きれいな空気よいい水を求めて

かんきょう 会報

Vol. 31



photo:「日本平夢テラスと夜景」
撮影者:静岡市市民カメラマン 望月敏秀 撮影場所:日本平



photo:「日本平夢テラス」
撮影者:静岡市市民カメラマン 田中 浩 撮影場所:日本平

県内優良施設見学研修会
(株)ジャパン・スリープ 島田プロダクションセンター
(株)アイエイアイ (IAI) 本社工場 …1

環境セミナー
環境を守るとは? ~自然界と人間活動の共生に向けて~ …3

会員事業所の取り組み
三菱電機(株) 静岡製作所 …4

かんきょうにゆーす …5



この会報誌は古紙配合率100%、
白色度70%の再生紙を使用してい
ます。

「県内優良施設見学研修会」に参加して

■DATA■

令和元年11月15日(金)

①(株)ジャパン・スリーブ 島田プロダクションセンター ②(株)アイエイアイ(IAI) 本社工場

本年度の「県内優良施設見学研修会」は会員・事務局16名が参加し、2社の見学をさせていただきました。

■(株)ジャパン・スリーブ 島田プロダクションセンター

1. 会社概要

(株)ジャパン・スリーブは国内外のCDやDVDパッケージの製造、加工、販売を手掛けられている会社です。掲げられている理念その1「私たちは、新しい価値を創造し続けます」として、これまでにない製品やサービスを世の中に送り出されています。その一例がいち早く日本の音楽市場でCDパッケージの新しい流れを作った「デジパック」ですが、その他にも多くのライセンス商品や自社独自の製品を開発され、いずれもご好評を得ておられます。

さらに理念その2として「私たちは、自己の可能性に挑戦し続けます」として、自己の能力に自ら限界を設けず可能性に挑戦することで技量を磨きスキルアップを図ることを実践されています。

2. 環境(CSR)への取組み

理念その3としてあげられていることは「私たちは、企業の社会的責任を全うします」というコミットメントです。ISO14001の認証を



取得し、材料のグリーン調達、生産の効率化による原材料の削減に努力されています。その他にも、①循環型社会の構築として、5R(リデュース、リユース、リサイクル、リフューズ、リペア)の推進や有害物質の管理体制構築と削減 ②地域密着型工場として、地域のイベント広場として開放、工場見学招請、工場周辺の通学路へのグリーンベルトの設置、1社1村静岡運動で草刈り・ゴミ拾い・さくら植樹に参加 ③国際貢献として、タイの子供たちへの教育支援、地元ボランティア活動などを実施されています。

3. 感想

玄関の二重扉を抜けロビーに入り、目の前の「静岡市環境保全推進協会様」の液晶画面で出迎えを受けました。その瞬間に感じた「お客様Firstで各所にゆき届いた工場」の印



(株)ジャパン・スリーブ 島田プロダクションセンター

象は見学全体を通して変わりませんでした。製品品質やセキュリティに関して、お客様のQCDに対する要望・要求をしっかり把握して、それらに確実にしかもスピーディーに対策を打ち、対応されていること、また環境保全に関しても全社をあげて力を入れて活動されていることがよくわかりました。

■(株)アイエイアイ(IAI) 本社工場

1. 会社概要

(株)アイエイアイは小型産業用ロボットのリーディングカンパニーとしてお客様の要望を反映し、国内外でトップシェアの単軸・直行ロボットをはじめ、革新的な製品を市場に送り出されています。その原動力は、変わり続けるという確固たる信念。今回の工場見学でも随所にその意図が反映されている場所を見学させて頂きました。

ロボット(アクチュエータ)に求められる仕様は多種多様です。ストローク、剛性、サイズ、速度、可搬質量、精度など、お客様の用途や使用環境によってさまざまなスペックが求められます。このようなニーズに対し、豊富な製品ラインナップを正確に効率的に生産するために、工程流れ方向、作業手順のダウンロード、ボカ除け(ネジ締め、部品選択)、各工程でのOK判定、トレーサビリティ確保、作業完了の発信(音)など驚くほど様々な工夫をされていることをわかりやすく説明頂きました。

2. 環境(CSR)への取組み

エコアクション21を取得され、全社で環境に取り組んでおられます。具体的には

- ・省エネ性能に優れている「ロボシリンダ」によるお客様工場のCO₂排出量削減の提案
- ・本社、尾羽工場の想定外使用量による水漏れ等を早期発見し無駄な水の使用を削減。
- ・エコマーク対象商品購入を推進し89%の実績。



- ・富士宮工場に隣接する社有森(杉、ひのき林)では、4.6hrの皆伐と定性間伐を行い、潜在自然植生を利用した自然豊かな森作りを継続。
- ・照明・プリンタのこまめな消灯や、蛍光灯をLEDに交換したことにより電気使用量従来比67%削減。
- ・雑紙分別の周知により一般ゴミの排出量を削減。
- ・興津川クリーン作戦に参加

3. 感想

高い技術をもって、お客様が期待される以上の製品とサービスに取り組むのみならず、環境負荷の少ない製品の開発にも力を入れていること、またその生産でも様々な工夫をされていることがよくわかりました。また、工程見学で各工程の方々から我々見学者に対して必ずあいさつを頂いたこと、また、作業区域・立ち入り禁止場所も明確で安全も十分に考えられていることなど、製品だけでなく「人」に対する配慮や教育も素晴らしいと感じました。

おわりに

優良施設見学研修会開催にあたって、静岡市環境保全推進協会事務局のご尽力に心から感謝致します。この見学会を是非継続して頂き、相互に議論し良い点を取り入れていくことで、環境に対する意識アップや環境保全活動の更なるレベルアップが期待できると思います。

(株)巴川製紙所 居潟俊明



(株)アイエイアイ(IAI) 本社工場



環境セミナー

Tuesday, February 18, 2020

環境を守るとは？ ～自然界と人間活動の共生に向けて～

講師 ふじのくに地球環境史ミュージアム 教授 山田和芳氏

ふじのくに地球環境史ミュージアム教授の山田和芳氏をお招きし、「環境を守るとは？ ～自然界と人間活動の共生に向けて～」を演題としたお話を伺いました。

山田氏は東京都立大学（現在の首都大学東京）に入学し、大学院博士課程まで約10年間にわたり自然地理学を学びます。化学実験や生物観察より地図を眺めること、地層を見ることが好きなため、地理学の道を選択しました。現在は研究の傍ら博物館活動を通じて、未来を豊かに生きるための新しいライフスタイルの普及に努めています。

環境の中での進化を見ると、人間は今迄自然を変えていくことで安定した暮らしを手に入れてきましたが、産業革命等で暮らしが良くなっていく反面、自然環境が悪くなってきました。

特に人間の活動が爆発した20世紀には100年の間でGDPが15倍、世界人口は4倍、工業生産は50倍、エネルギー消費量は14倍となり、20世紀の100年間で消費されたエネルギー量はそれ以前の総消費量よりも多く、それが環境汚染、自然破壊につながっています。

過去から人間は地球環境に翻弄されており、中世温暖期、小氷期などの時代もあり、火山の大噴火等での寒波や異常低温でもたくさんの命が奪われています。

地球温暖化は1850年ごろから始まっていますが、

問題なのはその変化のスピード。急激な変化があるとその変化に対応しきれません。このまま、CO₂が排出されると2090年で2.6～4.8℃気温が上昇します。すると高温のため作物ができなくなってしまいます。現に温州ミカン、サクランボ等ができる地域は北上しています。“佐藤錦”は山形県での栽培が有名でしたが、今は北海道での栽培が盛んになり、数年後には山形県の生産高を上回ると予想されています。また、皆さんの記憶にも新しいところでは、今年の台風15、19号は海水温が下がらないために勢力が弱まらず甚大な被害を及ぼしました。



このように環境の変化は、人間にとって様々なリスクがあり、このままでは2030年ごろ、それらのリスクが限界に達するといわれています。

そして今また、第8の重大なリスクが問題となっています。それが皆さんもご存じのマイクロプラスチックです。コアのプラスチックがマイクロ化、ナノ化して海中や空気中に漂っています。海洋生物がマイクロプラスチックを餌と間違えて食べてしまうと言われていますが、人間も空気中に漂っているナノ化したプラスチックを1週間でクレジットカード1枚分も食べていることになるそうです。

今回の講話では、人間の進化と環境変化の関わり合い等を、色々な事例を挙げてお話いただきました。

環境活動をするにあたり、子どもたちにただ「ゴミを拾おう」と言ってもダメ。具体的な数値を示してあげると活動がしやすくなります。例えばペットボトルを1日に4本拾うと、静岡県と同じくらいの海がキレイにできると。

山田教授は一番伝えなかったこととして、「環境を守ることが幸せになること。環境のヒーロー、ヒロインになろう。日本にしかない風景を残そう、日本固有の自然と文化を守るために」と、話されました。

理研軽金属工業(株) 佐藤正明



人と環境に配慮した技術を 静岡製作所から世界へ

三菱電機(株) 静岡製作所 片瀬憲一

三菱電機株式会社静岡製作所は1954年の操業以来、冷蔵庫、ルームエアコン、パッケージエアコン、圧縮機を主力製品として、皆様のもとにお届けしています。

静岡製作所のコンセプト「Eco Amenity」は、「エコロジーと快適性の両立」という意味。いわば、人へのやさしさと環境への配慮という、両立が難しいテーマを常に追求することが私たちの使命なのです。「Eco Amenity」の精神はものづくりだけではなく、製作所のあり方であり、ここに携わる全従業員の活動指針であり、さらには世界に発信するスローガンでもあります。私たちは、今までもこれからも、日本だけでなく世界中へ「Eco Amenity」を広げていきます。



冷蔵庫



ルームエアコン

環境への取り組み

[1] 省エネルギー製品の技術革新と普及。

温暖化防止に向け、製品使用時のCO₂排出量削減に取り組み、推進しています。

- ・長年培った当社の特長ある技術のさらなる進化：モーター技術、ヒートポンプ・空調技術等。
- ・独自の赤外線センサー「ムーブアイ」を活用した使用時における省エネ技術の推進。
- ・インバータ/パワー半導体技術の革新。

[2] プラスチックの自己循環リサイクルの推進

使用済みの家電製品から素材を回収し、新しい家電製品に再利用する「自己循環リサイクル」での、ものづくりを推進しています。

[3] 低炭素社会への貢献

「省エネ製品は省エネ工場から」をコンセプトに、空調・照明機器などの高効率機器の導入や、ものづくり改善などにより、生産時のCO₂排出量の削減活動を推進しています。

[4] 生物多様性保全活動

地域固有種の保全や外来種の管理、周辺の生態系を考慮した緑地の整備などを推進しています。

● よりみち緑地

製作所周辺や構内の環境調査を実施し、その結果、①周辺には市街地が広がっており緑の多いエリアとは分断されている、②構内の緑地面積が限られている、③特別に保護すべき希少種や駆除すべき外

来種等の特徴のある植物・生きものは発見されなかったことから「構内緑地の質の向上」を目指し、よりみち緑地の整備を進めています。

よりみち緑地は、鳥や蝶などの昆虫が餌を食べたり吸蜜をしたりするために一時的に立ち寄るための緑地というコンセプトのもと、周辺の生態系に影響を及ぼさないよう製作所周辺に生えている植物と同じ種類の植物を選定して植栽し、製作所周辺の緑と緑を繋ぐ飛び石的な役割を担い、緑のネットワーク構築に貢献しています。



吸蜜のためアザミにとまるツマグロヒョウモン

地域とのコミュニケーション

工場開放イベント「サンサンフェスタ」、近隣河川・海岸清掃、地元小学校の工場見学受入れや中学校での化学実験教室など、地域の自治体、団体、学校との交流を図りながら地域に根ざした活動を行っています。

[1] サンサンフェスタ

[2] 河川環境アドプトプログラム(安倍川清掃ボランティア)

河川環境の保全を図り、河川環境に対する従業員及び家族の意識の高揚に寄与することを目的に、清掃ボランティア活動を毎年定期的実施しています。



生物の中継地点となる“よりみち緑地”



サンサンフェスタ



安倍川清掃ボランティア

静岡市プラスチックごみ削減協力店登録店募集中!

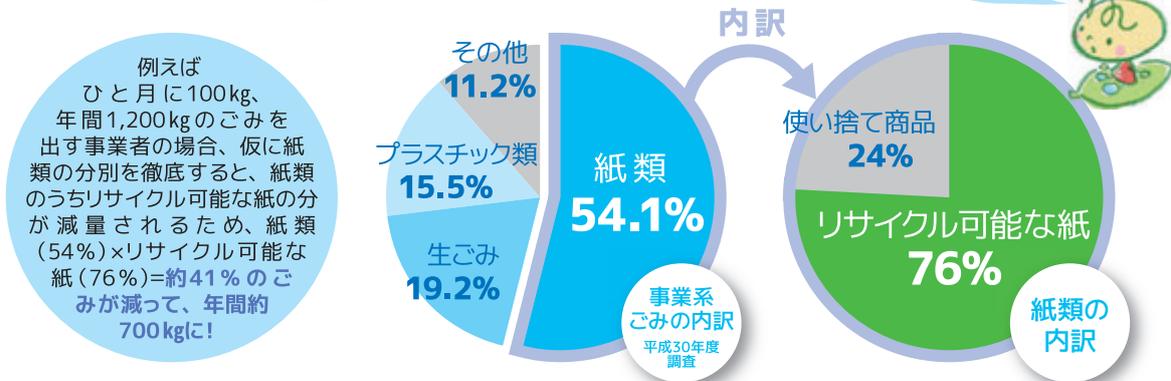
静岡市では、市内の事業所において使い捨てプラスチックごみを削減する取り組みをしていただくため、「静岡市プラスチックごみ削減協力店」制度を2020年3月2日からスタートし、登録店を募集しています! 取り組み項目は事業所が独自に設定していただき、3つ以上の取り組みを行っていただける事業所を協力店として登録します。協力店は静岡市HPで紹介いたしますので、環境により取り組みをしている事業所としてイメージアップを図れます。協力店には認定ステッカー(右上参照)をお渡しします。詳しくは、下記URL「静岡市HP」をご覧ください。

https://www.city.shizuoka.lg.jp/790_000155.html (右QRコードからもアクセスできます!)



紙類をしっかりと分別・リサイクルして経費削減!

事業所から出るごみの中で一番多いのが「紙類」ですが、ごみとして捨てられている紙類のうち、76%をリサイクル可能な紙が占めています。



リサイクル可能な紙の例



機密文書の溶解処理リサイクルについて

個人情報等が含まれている機密書類について、シュレッダーしたうえでごみとして廃棄処分される事業者も多いと思います。回収業者によっては、機密性を保ったままリサイクルが可能な溶解処理を行っている場合がありますので、問い合わせてみましょう!

※近年市況が変動し、紙類を受入れていただけない場合がございますが、回収業者とご相談いただき、極力リサイクルへのご協力をお願いいたします。



シュレッダー不要!

箱詰めのまま、溶解処理!

●お問い合わせ 静岡市環境局ごみ減量推進課 TEL:054-221-1075 または TEL:054-221-1361

事務局からのお知らせ

通常総会の開催について

通常総会の日程をお知らせいたします。

- 1.日にち 令和2年5月13日(水)
- 2.会場 中島屋ランドホテル
- 3.時間 理事会14:30 通常総会15:00
講演会15:40 意見交換会17:00

下草刈り中止のお知らせ

令和元年10月26日(土)に予定されていましたが、清水区三保クロマツ植樹地の下草刈りは、前日が雨の為中止になりました。

次回のご参加をよろしくお願いたします。

【令和2年3月31日現在会員数】 135事業所

随時会員を募集しております。詳細は事務局までお問い合わせください。

【発行】 静岡市環境保全推進協会
【事務局】 〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1 静岡庁舎 環境局 環境保全課内
TEL054-221-9373 FAX054-221-1186
ホームページURL <http://www.shizuoka-kankyosuishin.jp/>